

子どもたちと いのち輝く平和な未来を IV

子どもも教職員も、失敗しながら、 笑顔で学び合い、成長 していく学校を！

今の学校は“こうあるべき”という押し付けが多すぎると思いませんか？

～「憲法改正」の危機と子ども、学校、新学習指導要領～

- ・「いつの間にか子どもを“怒れる”教師になることを目指してきてしまった気がする。夏休み前の最後の日すら、たぶん周りの先生の目を気にして、自分のクラスの子どもの小さな失敗が許せなくて、怒鳴ってしまった。そのあとで通知表を配った時、「頑張ったね」って言ってあげたかったのに……その日は本当に情けなくて、夕飯の後に涙がこぼれてしまった」(青年教職員)
- ・「事務の仕事が、すごく規制が多くなって子どものために予算執行するのも難しくなっている。“事務の共同実施”で各校からいなくなったら、学校行事での物品の緊急対応などはできなくなると思う。なんでも“決まり通り”で子どもや学校のことを考えないというのは、新学習指導要領も同じですね」(学校事務職員)
- ・「学校ってブラック企業なのね。子どもと遊ぶ時間はあるの？って、久しぶりに会った大学時代の友人に言われてしまいました。情けない気分になってしまいました」(新規採用教員)

平日は、ほとんど我が子と一緒に夕飯をとることがない。これってやっぱり変だと思う。

忙しくて、つい子どもたちにもきつく当たってしまう自分を振り返って、悲しくなる。

9月10日(日) 10:00～16:30

エデュカス東京 地下会議室

(JR「市ヶ谷」「四ツ谷」7分、地下鉄有楽町線「麴町」5番出口2分)

〈午前の部〉10:00～12:00

学習と討論：新学習指導要領の実施目前研修、前倒しの実態。底流に進む「憲法改正」の動き。

「平和」が大事な「教育課題」ではなくなっていく？
そんな実態をしっかりと学び深めましょう。

〈午後の部〉13:00～16:30

実践報告と討論：子どもとともに歩む、全都の学校・地域での教育実践の報告と交流で「明日からの希望」を掴みましょう。

★新学習指導要領の本質、「資質・能力」、アクティブラーニング、習熟度別授業、特別の教科道徳、学力テスト採点とデータ作り、評価項目の変更、スタンダード、オリパラ教育、プログラミング教育……

——集会参加への呼びかけ——

「子どもも教職員も、失敗しながら、笑顔で学び合い、成長していく学校を」をテーマに9月10日(日)第34回「共同研究集会」を実施いたします。ぜひお集まりいただき、論議に参加いただけるようご案内申し上げます。

さて、以下は、2017、2月実施・都教組「働き方緊急アンケート」に寄せられた全都の教職員の声のほんの一部です。今、全都の職場は、例外なく教職員としての人権無視ともいえるような労働環境の下にあります。さらに新しい指導要領に向けた研修も強化されています。「次々と下ろされてくる教育課題に対して、思考停止してでも自分の仕事を終わらせなければならないと考えてパソコンに向かっている自分が怖い」「最大の被害者は、子どもではないか」という声が実行委員会の話し合いの中でも出されました。

平和憲法を亡きものにしようという動きと、強引に進められる「新学習指導要領」の目指す教育の方向が無関係とは言い切れない危惧を感じるのは私たち実行委員だけではないと思います。国や文科省の狙いを改めてとらえなおし、目の前の子どものことを思い浮かべながら、教育と学校の再生の道、日々の授業の方向性を一緒に探っていきませんか。

第34回共同研究集会実行委員会

★「子どもにかかわらない仕事ばかりで、クラスの事をやろうと思うといつも夜の7時をまわってしまいます。連日のように夜の9時すぎに帰り、家につくのは10時すぎです。…部活の休日練習や朝練も何とかしてほしいし、地域行事にここまで関わらなければならないのかも疑問です」(20代男性)

★「毎日トイレすらままならず、気が付くと給食の牛乳以外水分をとってないことも…帰宅が8時過ぎるのは当たり前。それでも安定しているんだから文句言うなって言われるのは心外です」(30代女性)

★「授業準備や教材研究する時間が、勤務時間内に1時間でも取ればありがたいなあと思います。子どもの学習のために時間を使いたいです」(30代女性)

★「教材研究や日記へのコメント書きなど、本来の業務を行う時間が取れない。つらい」(40代女性)

★「若い人は、一日13～15時間働いています」(50代男性)



主催 東京民研・共同研究集会実行委員会 (<http://homepage3.nifty.com/tokyo-minken>)

連絡、問い合わせ先 (東京民研) Tel 03・3230・0841 Fax 03・3262・9705